

<和歌山ーA の収束について>

今日配信の逆ラジオ通信にも載せましたが 何度も警戒を言ってきた和歌山ーA のデータの長いリバウンドが終わり、収束してきています。いまのデータからは M6 を超える大型の地震の可能性が迫っています。この和歌山ーA のデータのように 長期につづいた大きなデータがなかなか収束しなかったのは 地震の規模が大きい場合にしばしば起こります。10 年前の東日本大震災の前に 3 か月続いた当時の仙台のデータが同様に大きなデータがなかなか収束しないで続きました。

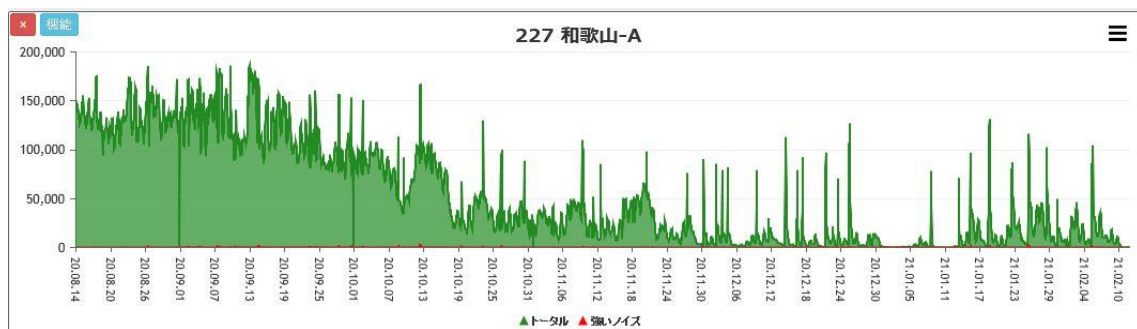
今回の和歌山ーA のデータもそれと類似していることから 何度も言っていますが 十分な注意が必要です。また今週末 2 月 12 日は月齢で新月になることからトリガーにかかり、大きな地震が起きやすくなる傾向にあります。

さらに周囲のデータ、印南、大地などもデータは小さいながら収束してきています。また神戸市灘に塊状のデータが出てきました。塊状のデータは過去に大地震の前兆として危険なデータですが 時期と場所から考えて、和歌山ーA のデータとの関連があるかもしれません。

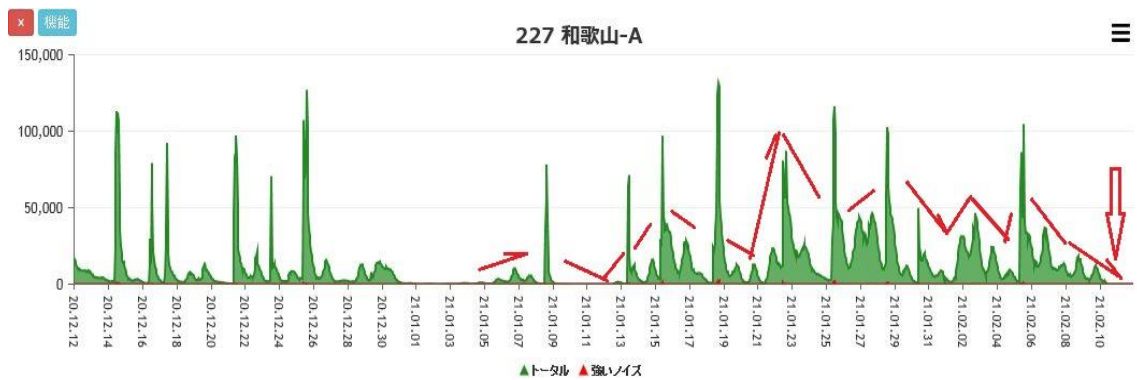
鹿がっていままでの以下の予測：

予測「2/11+7 和歌山周辺 100 k m 範囲 M6.2±0.5 程度」を 再度継続します。

和歌山ーA 180 日間データ



和歌山ーA 60 日間データ



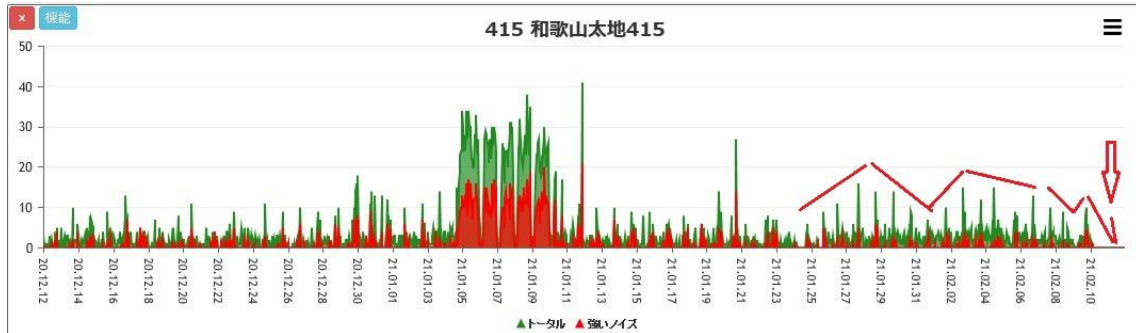
三重志摩 60 日間データ



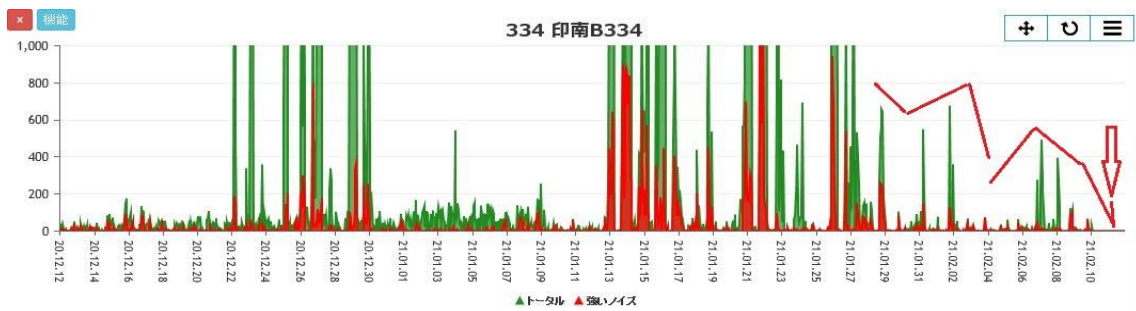
三重志摩 30日間データ



和歌山 大地 60日間データ



印南 60日間データ



神戸 灘 60日間データ



<高知市介良のデータについて>

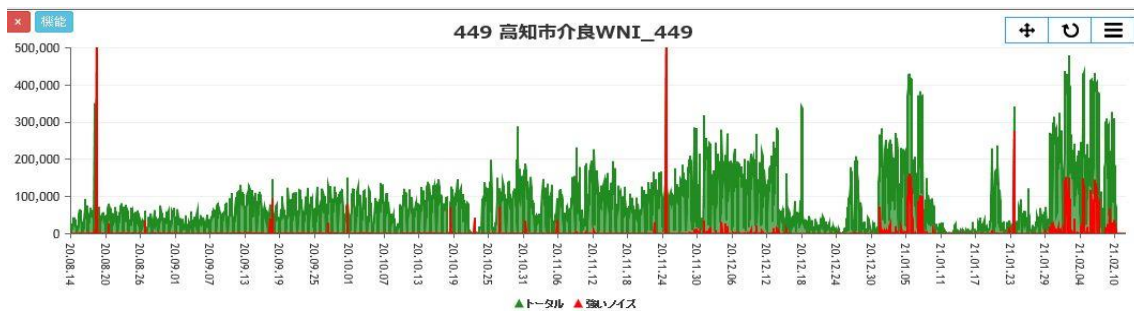
【高知市介良】のデータは当初、和歌山Aとの関連があり、震源が中間の四国の中の紀伊水道の可能性が高いと思われましたが、ここへきて【和歌山A】のデータの動きとは違うと思われ、また【大分県】のデータと関連も低いと思われます。

そして高知県黒潮町に同期したような巨大なデータが出ました。

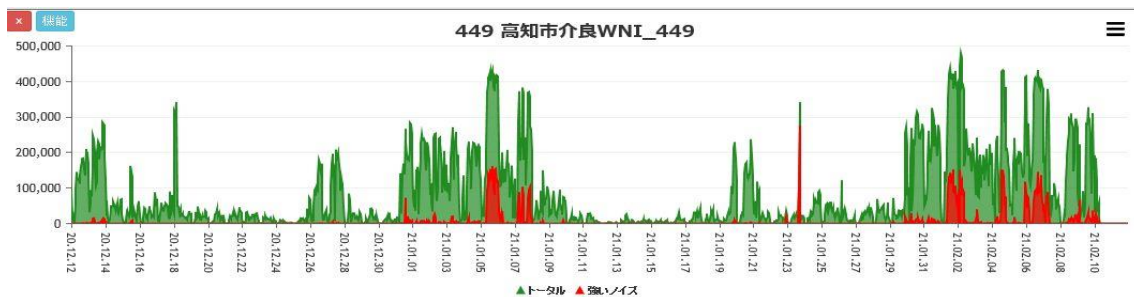
高知市介良の長期データと高知黒潮町の大きな壁立ち状のデータは 周囲のデータと合わせて考えると、要注意の状況であって 今後の推移を注視します。

データからみて 発震はすぐではないのですが きわめて危険なデータなので この先要注意です。いずれにせよ高知を中心にした周囲の方々は今後、ご注意ください。

高知市介良 180日間データ



高知市介良 60日間データ



高知 黒潮町 60日間データ



<九州 大分県府のデータについて>

【大分県府】11/16 から 15 万前後のかたまり状のデータが発生し その後データが階段状

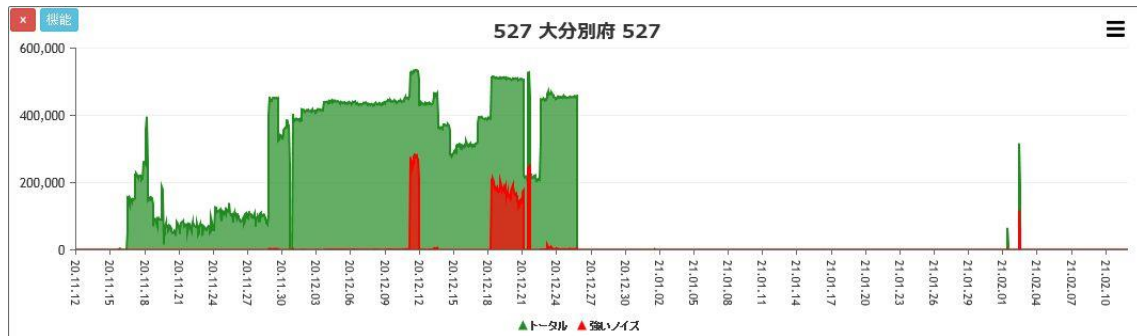
に変化しています。そして 12/26 からはデータがたまに一本立ちが出るのを除き急激に小さくなっています。

かたまり状のデータは今まで大きな地震が発生している為、注意が必要と思われます。

規模の大きい地震の可能性もあるのでご注意ください。

予測「2/10+5 日程度、大分県周辺 100 km 範囲 M6.0±0.5 程度」とします。

大分県 90 日間データ



大分県 60 日間データ

